

## 【性質】

ディサはクールオーキッドと呼ばれるランの代表種で、夏は涼しく、冬は比較的暖かい環境を好みます。最適栽培温度は15～25℃ですが、0～30℃程度に耐えます。自生地が小川のそばなど湿潤なところであるため、根の乾燥に非常に弱いのも特徴です。

栽培の難易度が高く、特に夏が暑くなる本州以南では育てにくいランですが、うまくコツをつかめば次年度の開花も見込めます。

## 【開花中の管理】

◆光が弱いと花色が悪くなり、花持ちも悪いようです。窓際などできるだけ明るい場所に置いて下さい。ただ、直射日光に当てると葉が傷みますので、レースカーテン越しの柔らかな光を十分に当てる様にするとよいでしょう。

◆涼しいところの方が花は長く楽しめます。

◆水やりは鉢の乾き具合を見ながら、少なくとも4～5日に一回は行って下さい。決して乾かしてはいけません。

◆開花中は施肥の必要はありません。新鮮な水道水を株元にたっぷり与您してください。

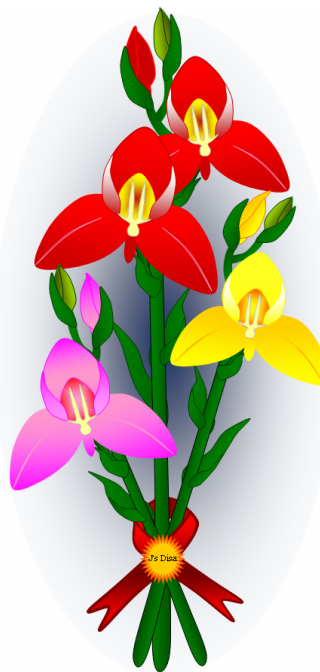
## 【花後の管理】

### 1. 株分け・植替え

◆花が終わったら花茎を地際で切り、株元から新芽が伸びるのを待ちます。4～5cm程になったら株分け可能です。栽培状況によっては新芽が出にくい系統もあります。

◆古株から新芽を白い新根ごと丁寧に取り外します。十分に湿らせたミズゴケを少し多めに取り、一株ごと根を包むように巻きつけ、2号ポリ鉢に植えこんで株分けします。

◆植替えは約3ヶ月毎、根鉢に新しいミズゴケを巻き足して一回り大きな鉢に少しきつめに植えます。ディサの根はとても折れやすいので、丁寧に作業してください。



## 2. 栽培

◆清潔な環境を好みます。野外では決して鉢を地面に下ろさず、台の上に置いて下さい。また葉が傷むので、雨ざらしにはしないで下さい。

◆冷涼な環境を好みます。夏の暑い時は風通しのよい木陰などのできるだけ涼しい所に置いて下さい。

◆寒さには強いですが。特に温室などは必要としませんが、冬は室内で栽培する方が良いでしょう。最低10℃を目安に室内に取り込み、凍らないような場所において下さい。

◆光を好みます。野外・室内を問わずできるだけ明るい場所に置いて下さい。ただし強い直射日光は葉を傷めますので避けて下さい。

◆水を好みます。鉢の乾き具合を見ながら、3～4日に一回程度は与えて下さい。病害防除の点から、水差しなどで株元に与えるか、鉢底から吸わせる方法をお勧めします。特に高温期はできるだけ葉を濡らさぬようにしましょう。

◆生育期には水の代わりに薄い液肥を毎回与えるとよく育ちます。洋ラン用液肥(6-6-6)を1500倍程度で与えて下さい。

◆病気に弱いですが。予防的な殺菌剤の灌注処理を行いましょう。また油粕など有機質肥料の使用は避けましょう。葉に褐色の斑点があればすぐに切除します。株元から腐敗し枯れた株はすぐに処分します。一方、葉先がわずかに枯れているのは特に問題ありません。

◆害虫はスリップス・カイガラムシ・ヒメハダニ・ナメクジなどです。発生が見られたら早急に取り除き、殺虫剤を処理して下さい。

## 【季節ごとの管理のポイント】

【春】開花期。明るく涼しいところに置く。最低10℃以上になれば野外に出してよい。

【夏】最高30℃を目安に、遮光したり風通しをよくする。病虫害の発生に注意。

【秋】生育期。肥料を十分に与える。最低10℃を目安に室内に入れ、明るいところにおく。

【冬】できるだけ明るく、凍らないようなところに置く。暖房のきつい場所や極度に乾燥したところは避ける。

## ディサ栽培管理メモ



より詳細な情報は  
HP「幻の洋蘭 ディサの育て方」  
(<http://jsdisa.air-nifty.com>)  
でご確認下さい。